



平成27年7月27日

各位

上場会社名 ホシザキ電機株式会社  
 代表者 代表取締役会長兼社長 坂本 精志  
 (コード番号 6465)  
 問合せ先責任者 常務取締役 本郷 正己  
 (TEL 0562-96-1320)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年2月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成27年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成27年1月1日～平成27年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	124,000	14,900	15,100	9,100	125.79
今回修正予想(B)	130,900	17,800	19,000	11,300	156.17
増減額(B-A)	6,900	2,900	3,900	2,200	
増減率(%)	5.6	19.5	25.8	24.2	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年12月期第2四半期)	117,500	15,275	14,610	8,819	122.03

平成27年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	245,000	27,200	27,700	17,000	235.00
今回修正予想(B)	259,000	29,000	30,500	17,500	241.80
増減額(B-A)	14,000	1,800	2,800	500	
増減率(%)	5.7	6.6	10.1	2.9	
(ご参考)前期実績 (平成26年12月期)	233,252	26,984	31,235	15,011	207.65

### 修正の理由

#### 第2四半期(累計)及び通期連結業績予想数値の修正

当第2四半期連結累計期間は、国内においては、金融政策及び経済政策の実施等により、企業業績や雇用環境、所得環境の改善が見られ、景気は回復基調で推移いたしました。

海外においては、米国の景気は堅調、欧州の景気も着実に回復してきている一方で、新興国においては、特に中国経済の成長鈍化等、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境のなか、国内では、製氷機、業務用冷蔵庫等主力製品に加え、スチームコンベクションオープンをはじめとした戦略商品の拡販並びに、幅広いフードサービス産業の既存顧客の深掘、及び新規顧客の開拓に取り組んだ結果、消費税率引上げに伴う駆け込み需要のあった前年度を上回る売上となりました。

海外では、当社の主要取引通貨である米ドルの円安によるプラス効果に加え、米国を中心に引き続き主力製品の販売が好調に推移いたしました。

また、国内、海外において原価低減並びに、業務効率化や生産性向上に継続的に努め、利益の捻出に取り組みました。

一方、第3四半期以降は、国内はフードサービス産業における設備投資の今後の継続性が不確実であることに加え、海外は年内に想定される米国の利上げ等、特に新興国や欧州におけるマクロ経済の先行き不透明な状況が懸念されます。

これらに伴い、第2四半期累計期間、及び通期の連結業績予想を変更いたします。

前回発表の予想では、業績予想の前提となる主な通貨の為替レートにつきまして、1米ドル=115円、1ユーロ=135円と想定しておりましたが、通期業績予想においては、1米ドル=120円、1ユーロ=134円へ修正いたしております。

当通期連結業績予想数値においては、営業外の為替差損益として、第2四半期累計期間で発生した為替差益約9億円のみ計上しております(前年通期の営業外における為替差益計上額約33億円)。

(注記)

前述の業績見通し等に記載されている各数値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断する一定の前提及び仮定に基づき算定しております。内在する仮定及び状況の変化等により、実績等が見通しの数値と異なることが有り得ますことをご承知おき下さい。

以 上